

基金活用し川を清掃

紀北のキャンプ場 高校生雇い初実施

紀北町海山区使ノ山 キャンプ場「キャンプリン海山」の利用者から寄せられた募金などを活用し、地元の高中生四人が二十四日、銚子川周辺の清掃活動をした。

キャンプ場の指定管理者「NPO法人ふるさと企画舎」が企画。昨年三月に受付窓口

募金箱を置いたほか、がきなどの売り上げの販売している薪や絵は一部を合わせ「銚子川



ごみを拾い集める高校生—紀北町海山区使ノ山の銚子川で

環境保全基金」とし、清掃などに役立てることにした。約一年間で四万四千四百二十三円が集まった。

基金を活用した活動は今回が初めて。地元の人に関心を持ってもらおうと、海山区在住の高中生をアルバイトとして雇った。

高校生たちは種まき権兵衛の里や魚跳溪など、キャンプ場周辺の川沿いを歩き、空き缶、ペットボトルなどのごみを拾った。尾鷲高校二年の奥村一輝君は「銚子川はきれいに見えますが、パーベキユーのごみとかが思った以上に多い」とマンナの悪さに憤慨していた。

(中西康)